

平成29年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：先端産業課

担当名：推進担当

内線：3776

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B21	先端産業創造推進事業		一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	次世代産業支援費	
事業期間	平成26年度～平成30年度	根拠法令			宣言項目	08 稼ぐ力の向上		
					分野施策	040831 新たな産業の育成と企業誘致の推進		
1 事業の概要 今後大きな成長が見込まれる先端産業を振興するため企業・大学・研究機関等の人材・技術・情報を本県に集結し、あわせて企業等の事業化を支援することにより、産業活性化、雇用創出及び税収増加に結びつける。 (1) 先端産業研究サロン等運営事業 △4,682千円 事務経費の節減等により生じた減 (2) 先端産業創造産学官交流事業 △1,092千円 事務経費の節減により生じた減			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 先端産業研究サロン等運営事業 24,090千円 先端産業研究サロンの運営(3回) 先端産業に関する市場調査・普及啓発 イ 先端産業創造産学官交流事業 1,442千円 先端産業創造に向けた産学官交流会の開催 ウ 先端産業支援センター運営事業 2,400千円 先端産業に取り組む事業者を支援するサポートセンターを設置(新都心ビジネス交流プラザ) エ 成果のPR、見える化事業 8,562千円 プロジェクトの成果を動画発信などによりPR オ 先端要素技術の事業化支援事業 50,150千円 新技術の応用による製品開発・事業化を支援 (2) 事業計画 平成27年度～ 産学官交流会、先端産業支援センター設置・運営、先端技術・製品開発補助による支援 平成28年度～ 先端産業研究サロンの開催、産学官交流会、先端産業支援センター運営、企業PR 平成29年度～ 先端産業研究サロンの開催、産学官交流会、先端産業支援センター運営、成果PR (3) 事業効果 先端産業に関する人材・技術・情報を集結し、あわせて事業化を支援することにより産業活性化、雇用創出、税収増加に寄与する。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 大学・研究機関、埼玉県産業振興公社、シンクタンク、動画制作企業その他の民間企業等と連携して実施する。 (5) 補正予算の概要 (1) 先端産業研究サロン等運営事業：事務経費の節減により生じた減額、契約差金発生に伴う減額等 (2) 先端産業創造産学官交流事業：事務経費の節減により生じた減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3人=28,500千円								
予算額			財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△5,774	△5,275	△499				0	80,870
現計額	86,644	85,942	702				0	